

## 大井町まちづくりアンケート調査概要

### 1 暮らしを取り巻く環境について

整備を希望するものは、「防犯灯」が39.6%と最も高く、次いで「信号・カーブミラー等の交通安全施設」33.2%、「家のまわりの生活道路」28.4%、「子どもの遊び場」28.2%と続いている。

【年齢別】20～29歳では「信号・カーブミラー等の交通安全施設」が38.9%、30～39歳では「子どもの遊び場」が49.0%と「防犯灯」を抑えて最も多かった。

【地区別】相和地区のみ、最も多かったのが「家のまわりの生活道路」で40.5%であった。これからのまちづくりのキーワードは「安心」・「安全」・「環境」である。

### 2 大井町の将来像や今後のまちづくりについて

町民がすばらしいと感じているものは「酒匂川の清流」が最も多く（21.8%）次いで「豊かな自然」（11.4%）、「挨拶」（10.6%）、職員では最も多いものが「富士山」（21.8%）、「田園風景」（14.1%）、「酒匂川の清流」（12.8%）であった。

今後の町の開発の方向性は、「人口を少しずつ増加させるため開発を行う」34.6%と最も多かったが、前回（5年前調査）の67.7%に比べ大幅に減少している。一方で「人口も開発もなりゆき」に任せるが17.4%と前回の5.6%に比べて増加している。性別・年齢別・地区別いずれにおいても「人口を少しずつ増加させるため開発を行う」が最も多かった。

合併については賛否両論だが、慎重派が多い。「早期に合併を進めた方がよい」と答えたのは全体の9.9%にすぎない。（「将来的に合併を進めた方がよい」は20.1%、「検討するべきである」は14.9%）

【地区別】曾我地区のみ「将来的に合併を進めた方がよい」が22.8%と最も多かった。（金田19.3%、相和地区は、上位3位に入っていない）

### 3 まちづくりへの参加と協力について

町について特に知りたい情報は「町が将来的に進める事業やその内容」が37.9%と最も高く（前回46.5%）、次いで僅差で「町が抱えている問題」37.1%（前回26.1%）であった。

【性別】女性は1位「町が抱えている問題」33.5%、男性は「町が将来的に進める事業やその内容」45.0%であった。

【年齢別】現役世代と高齢世代で最も知りたい情報について傾向の差があった。20～59歳は「町が抱えている問題」、60歳以上の人は「町が将来的に進める事業やその内容」であった。

【地区別】曾我地区のみ「町が将来的に進める事業やその内容」39.3%と最も多かった。（他の地区は「町が抱えている問題」が最も多く金田地区39.3%、相和地区37.2%であった。）地域づくりやまちづくり活動に関する関心については、何らか「関心がある」が66.5%と前回の69.9%に比べて微減している。

【性別】あまり「関心がない」層は男性（20.9%）に比べ女性（27.1%）が多い。

【年齢別】20代は「あまり関心がない」（40.7%）が最も多く他の世代に比べて関心が最も薄く、逆に70歳以上では「関心がある」（31.2%）層が最も多く、現役世代ほどなかなかまちづくりに関心がもてない現状がみてとれる。

町に対する意見の伝え方としては、「アンケート調査で十分である」37.5%と目立って高い。（他の項目は10%前後）。性別、年齢別、地区別も同様であった。

今後の公共サービスのあり方は、「個人や地域でやるべきことは自分達でやるため、公共サービス向上よりも住民の税負担を減らして欲しい」が45.6%と最も多く、次いで「住民自身のボランティア活動などにより財源不足を補い、公共サービスを維持・向上して欲しい」が38.1%と、何らかの形で住民が行政サービスの補完機能をもつことへの意識形成はできている。地方分権や行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきことは、「行政組織の簡素・効率化」が57.5%（職員44.9%）と最も多く、次いで「積極的でわかりやすい情報公開」が43.4%（職員19.2%）となっている。

#### 4 行政の施策や事業の取り組みについて

満足度高いもの、町民「緑の豊かさや自然環境の保全」45.9%、「下水道の整備」43.7%、「道路の整備」43.1%、職員「下水道の整備」58.3%、「道路の整備」56.4%、「緑の豊かさや自然環境の保全」54.5%の順。

【地区別】最も満足度が高かったもの、金田地区「下水道の整備」48.1%、曾我地区「緑の豊かさや自然環境の保全」49.2%、相和地区「ゴミの減量化とリサイクルへの取り組み」47.1%。満足度低いもの、町民「商工業振興」8.6%、「地域資源を活用した観光振興」8.8%、職員「鉄道・バス路線網」4.5%、「男女共同参画社会へ向けた取り組み」8.9%。

【地区別】最も満足度が低かったもの、金田地区「商工業振興」7.6%、曾我地区「鉄道・バス路線網」7.8%、相和地区「鉄道・バス路線網」5.0%。

重要度高いもの、町民「歩道の整備」75.8%、「ごみ減量化・リサイクル」73.2%、「地震等防災対策」72.7%、職員「地震等防災対策」83.3%、「歩道の整備」82.0%、「消防・救急体制の整備」80.1%。低いもの「男女共同参画の取り組み」29.7%、「スポーツレクリエーション」36.7%、「地域資源を活用した観光振興」37.8%。

【地区別】重要度が最も高いもの、金田地区「歩道の整備」76.1%、曾我地区「歩道の整備」77.2%、相和地区「道路の整備」74.4%。

重要度が最も低いもの、全ての地区で「男女共同参画への取り組み」であった。

大井町の住みやすさ（住みよ+まあ住みよ+ 64.7%、前回61.2%）は微増傾向。20歳以降、年齢が高くなるほど評価が高くなる傾向。地区別には金田、曾我、相和の順で評価が高い。大井町の住みにくい理由としては「公共交通が不便である」次いで「道路や公園などの都市基盤の整備が不十分」、「買い物・通院などの日常生活が不便である」が多くなっている。（自由記述の設問）